



やはば

Yahaba
Public relations paper

広報やはばの年表

昭和 30 年 6 月	創刊 (B5 版、矢巾村時代)
昭和 39 年 8 月	100 号を発行 B4 版に変更
昭和 41 年 5 月 (121 号)	矢巾町制最初の広報発行
昭和 44 年 8 月 (160 号)	B5 版に変更
昭和 47 年 12 月	200 号を発行
昭和 56 年 2 月	300 号を発行
昭和 57 年 1 月 (335 号)	A4 版・2 色刷りに変更
昭和 60 年 5 月 (351 号)	カラー表紙がスタート
昭和 63 年 9 月 (391 号)	「やはばっ子」(現・友だち紹介) がスタート
平成元年 6 月	400 号を発行
平成 9 年 10 月	500 号を発行
平成 16 年 2 月	600 号を発行
平成 24 年 6 月	700 号を発行
平成 29 年 5 月 (759 号)	全ページをフルカラーに変更
令和元年 5 月 (783 号)	元号が平成から令和に 全ページをリニューアル
令和元年 10 月 (788 号)	水本圭治さんの東京五輪カヌー競技出場決定に合わせ、 記念特集を掲載
令和 2 年 10 月	800 号を発行

広報やはば

800号

になりました

昭和30年6月に創刊した町の広報紙「広報やはば」が、800号の節目を迎えました。平成24年6月に700号となり、今回の800号までの間には、元号が平成から令和となり、広報紙としては全面リニューアルを行うなど、大きな転換期となりました。今後も町民の皆さんのためになる「広報やはば」を発行していきますので、よろしくお願いいたします。

「新型コロナウイルス」「インフルエンザ」を両方防ごう！



毎日の体温チェックを欠かさずに！



マスクの着用、消毒を忘れずに！

コロナ禍による町関係の中止事業 (10月1日～令和3年3月31日)

- ▼町秋まつり (19\$に関連記事)
- ▼町健康福祉まつり
- ▼町金婚式 (24\$に関連記事)
- ▼第45回町郷土芸能大会

町長メッセージの全文は町ホームページ (QRコード) でご覧になれます。



■新型コロナウイルス感染症が疑われる場合は
県帰国者・接触者相談センター(☎651-3175)へ。

町民の皆様へ (抜粋)

コロナ禍において、県内でも家庭内の集団感染が確認されるなど、依然として全国では多くの感染者が確認されています。それに伴い、心ない誹謗中傷で傷ついている方々もいます。もし、自分がその立場になったらと考えて、人として大切ないたわりの気持ちをもって対応していただきたいと切に願います。

また、冬期間に向けて、新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行が心配されています。

高齢者や基礎疾患をお持ちの方、妊婦、乳幼児から児童生徒の皆様へのインフルエンザ予防接種が強く推奨されていますので、お早めに予約し接種するようお願いいたします。

季節性インフルエンザを予防することで、発熱者などの医療機関への殺到や混乱を防ぎ、医療従事者をはじめとした周りの人たちを守る行動につながります。

町民の皆様には、基本的な感染対策と、正しい情報と知識に基づいた行動をお願いします。

矢巾町長 高橋昌造

道徳「折り鶴にこめられた願い」の学習を終えて



子どもたちの平和のメッセージ展に送られた徳田小6年生の作品

矢巾町立徳田小学校
6年一同



高橋町長から参加証書を受け取る齊藤みなみさん

徳田小6年生へ 参加証書

広島市で行われた「被爆75年 子どもたちの平和のメッセージ展」に作品を送った徳田小6年生32人のもとへ、参加証書が届けられました。児童らは今回の取り組みを通して、戦争の悲惨さと平和の尊さへ、思いを新たにしました。

徳田小の6年生は、被爆による病気により12歳で亡くなった佐々木禎子さんのエピソードを学び、感じたことをメッセージに記入。同市の平和記念公園で8月6日に行われた同展に送りました。

参加証書は9月7日、高橋町長から、同校6年の齊藤みなみさんへ贈呈。証書は松井一實広島市長名で「核兵器の廃絶とその先にある世界恒久平和の実現に向けて、一緒に行動していきましょう」などが記されていました。

受け取った齊藤さんは「授業の中で、戦争は悲しく、つらいものだと言った。あつてはならないものだと思う」と話しました。

同展は、コロナ禍で中止となった「ひろしま子ども平和の集い」の代替行事として企画されました。徳田小のメッセージは、全国の22市町と海外2カ国の計60団体から寄せられた作品とともに会場に並び、平和への思いを発信しました。